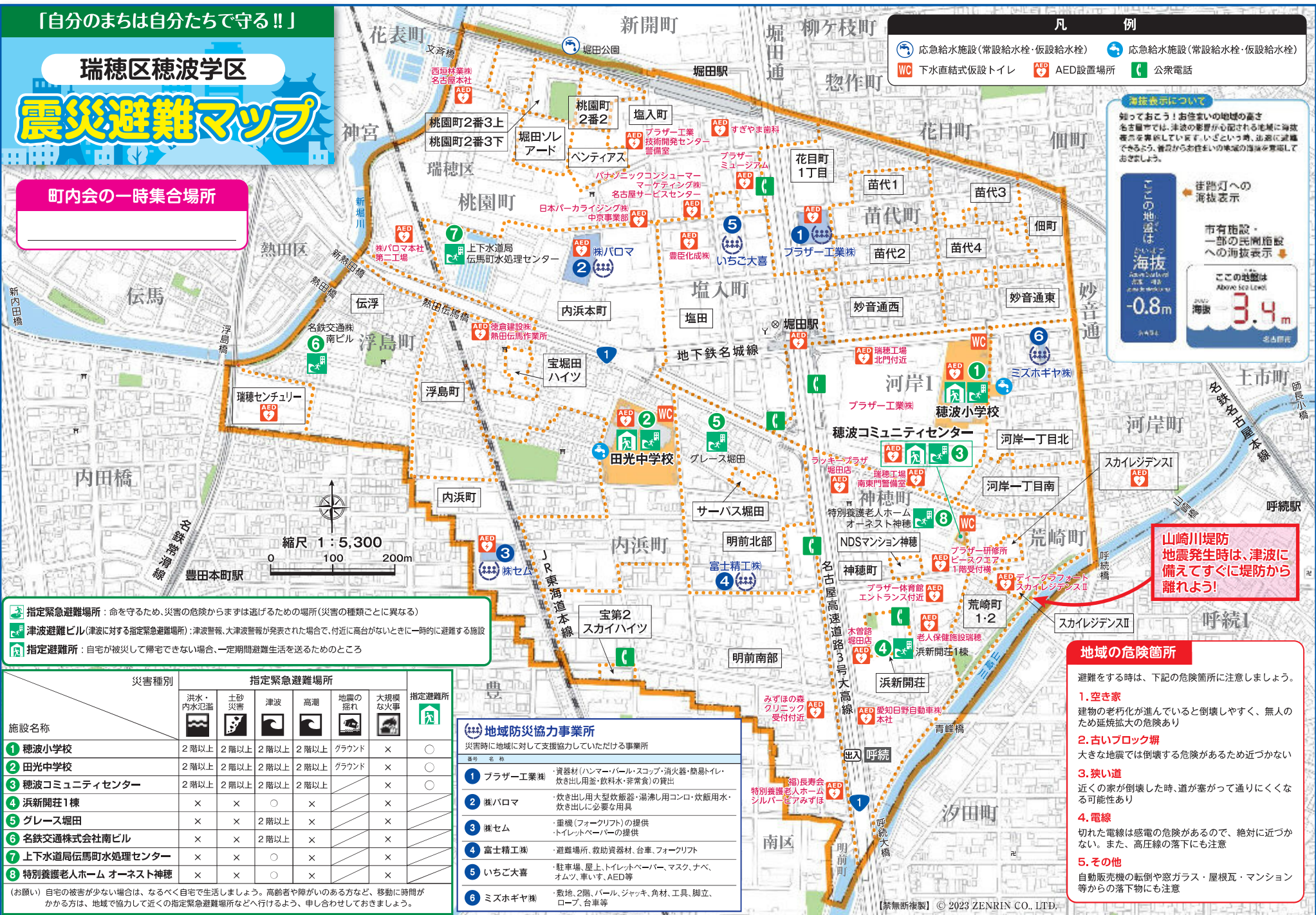


「自分のまちは自分たちで守る!!」

瑞穂区穂波学区 震災避難マップ

町内会の一時集合場所



凡 例

- 応急給水施設 (常設給水栓・仮設給水栓)
- 応急給水施設 (常設給水栓・仮設給水栓)
- WC 下水直結式仮設トイレ
- AED AED設置場所
- 公共電話

海抜表示について

知っておこう！お住まいの地域の高さ
名古屋市では、津波の影響が心配される地域に海抜表示を義務付けています。いざという時、迅速に避難できるように、普段からお住まいの地域の海抜を確認しておきましょう。

この地盤は
市有施設・一部の民間施設への海抜表示

この地盤は
海抜 **3.4m**

市有施設
AED設置場所

山崎川堤防
地震発生時は、津波に備えてすぐに堤防から離れよう!

- 指定緊急避難場所**：命を守るため、災害の危険からまずは逃げるための場所(災害の種類ごとに異なる)
- 津波避難ビル**(津波に対する指定緊急避難場所)：津波警報、大津波警報が発表された場合、付近に高台がないときに一時的に避難する施設
- 指定避難所**：自宅が被災して帰宅できない場合、一定期間避難生活を送るためのところ

施設名称	災害種別						指定避難所
	洪水・内水氾濫	土砂災害	津波	高潮	地震の揺れ	大規模な火事	
1 穂波小学校	2階以上	2階以上	2階以上	2階以上	グラウンド	×	○
2 田光中学校	2階以上	2階以上	2階以上	2階以上	グラウンド	×	○
3 穂波コミュニティセンター	2階以上	2階以上	2階以上	2階以上		×	○
4 浜新開荘1棟	×	×	×	×		×	×
5 グレース堀田	×	×	2階以上	×		×	×
6 名鉄交通株式会社南ビル	×	×	2階以上	×		×	×
7 上下水道局伝馬町水処理センター	×	×	○	×		×	×
8 特別養護老人ホーム オーネスト神穂	×	×	×	×		×	×

(お願い) 自宅の被害が少ない場合は、なるべく自宅で生活しましょう。高齢者や障がいのある方など、移動に時間がかかる方は、地域で協力して近くの指定緊急避難場所などへ行くよう、申し合わせておきましょう。

地域防災協力事業所

災害時に地域に対して支援協力していただける事業所

番号	名称	提供内容
1	ブラザー工業株式会社	資器材(ハンマー・パール・スコップ・消火器・簡易トイレ・炊き出し用釜・飲料水・非常食)の貸出
2	株バロマ	炊き出し用大型炊飯器・湯沸し用コンロ・炊飯用水・炊き出しに必要な用具
3	株セム	重機(フォークリフト)の提供 トイレ用ペーパーの提供
4	富士精工株式会社	避難場所、救助資器材、台車、フォークリフト
5	いちご大喜	駐車場、屋上、トイレ用ペーパー、マスク、ナベ、オムツ、車いす、AED等
6	ミスホギヤ株式会社	敷地、2階、バルコニー、ジャッキ、角材、工具、脚立、ロープ、台車等

地域の危険箇所

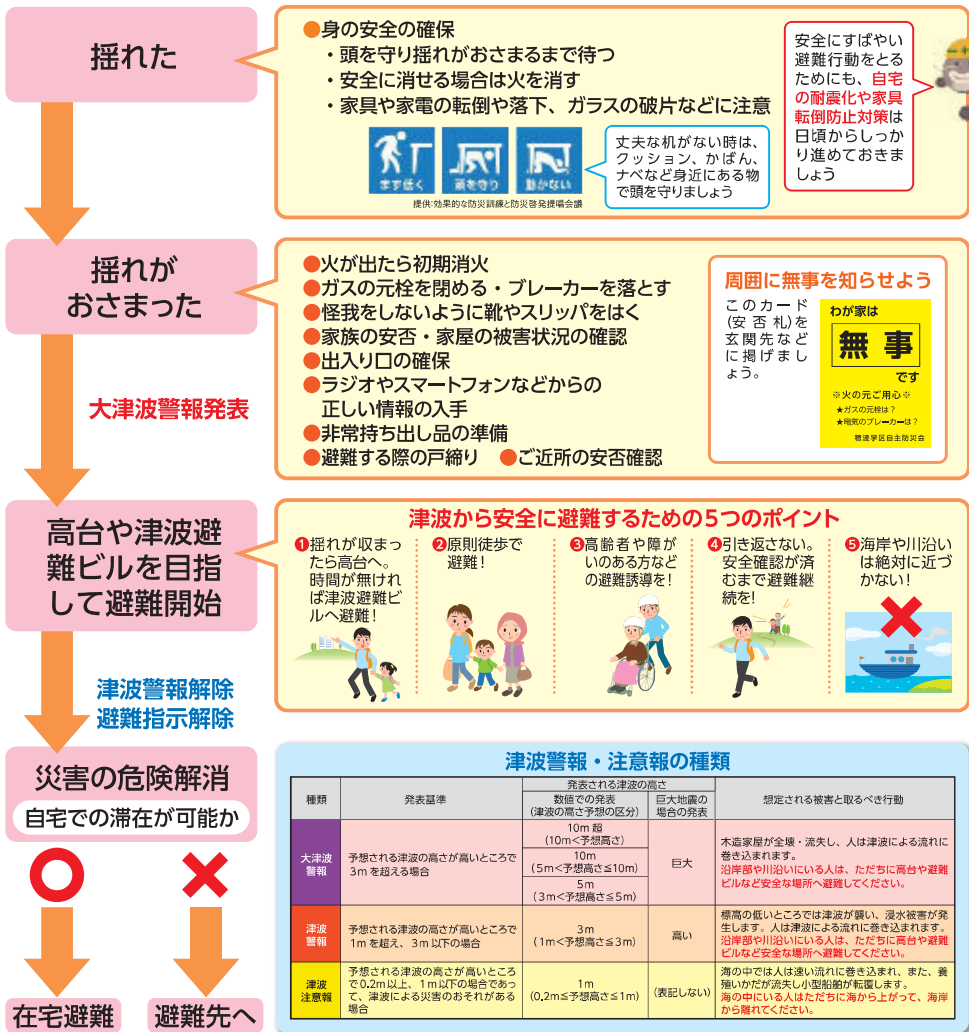
避難をする時は、下記の危険箇所に注意しましょう。

- 空き家**
建物の老朽化が進んでいると倒壊しやすく、無人のため延焼拡大の危険あり
- 古いブロック塀**
大きな地震では倒壊する危険があるため近づかない
- 狭い道**
近くの家が倒壊した時、道が塞がって通りがなくなる可能性あり
- 電線**
切れた電線は感電の危険があるので、絶対に近づかない。また、高圧線の落下にも注意
- その他**
自動販売機の転倒や窓ガラス・屋根瓦・マンション等からの落下物にも注意

瑞穂区穂波学区 災害時の特性と対策

南海トラフ巨大地震が発生した場合、名古屋市の中でも比較的強い**震度6強**の揺れが想定されます。まずは身を守りましょう。このときに怪我をしないよう、日頃から家具の転倒防止などの耐震対策に努めましょう。また、津波によって**1mほどの浸水**が予想されます。当地区では津波の浸水深が240分～720分後には30cmに達し、身動きが取れなくなります。この時間を最大限に使い、新堀川と山崎川から遠ざかるようにして高台が間に合わない場合は津波避難ビルへ避難しましょう。**液状化現象**が起きる可能性が高い箇所がいくつかあります。建物が傾いたり、路上に泥水が溢れ出し、通ることができなくなります。これらを踏まえ、適切な避難先と、そこまで安全にたどり着くための経路をあらかじめ考えておきましょう。

地震発生！ 災害時の対応



●身の安全の確保

- ・頭を守り揺れがおさまるまで待つ
- ・安全に消せる場合は火を消す
- ・家具や家電の転倒や落下、ガラスの破片などに注意

安全にすばやい避難行動をとるためにも、**自宅の耐震化や家具転倒防止対策**は日頃からしっかりと進めておきましょう

●丈夫な机がない時は、クッション、かばん、ナベなど身近にある物で頭を守りましょう

●火が出たら初期消火

●ガスの元栓を閉める・ブレーカーを落とす

●怪我をしないように靴やスリッパをはく

●家族の安否・家屋の被害状況の確認

●出入り口の確保

●ラジオやスマートフォンなどからの正しい情報の入手

●非常持ち出し品の準備

●避難する際の戸締り ●ご近所の安否確認

周囲に無事を知らせよう

このカード(安否札)を玄関先などに掲げましょう。

津波から安全に避難するための5つのポイント

- 1 揺れが収まったら高台へ。時間が無ければ津波避難ビルへ避難!
- 2 原則徒歩で避難!
- 3 高齢者や障がいのある方などの避難誘導を!
- 4 引き返さない。安全確認が済むまで避難継続を!
- 5 海岸や川沿いは絶対に近づかない!

津波警報・注意報の種類

種類	発表基準	発表される津波の高さ		想定される被害と取るべき行動
		数値での発表(津波の高さ予想の区分)	巨大地震の場合の発表	
大津波警報	予想される津波の高さが高いところで3mを超える場合	10m超(10m<予想高さ)	巨大	本道家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
津波警報	予想される津波の高さが高いところで1mを超え、3m以下の場合	10m(5m<予想高さ≤10m) 5m(3m<予想高さ≤5m)	高	標高の低いところでは津波が傾い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
津波注意報	予想される津波の高さが高いところで0.2m以上、1m以下の場合であって、津波による災害のおそれがある場合	1m(0.2m≤予想高さ≤1m)	(表記しない)	海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、養殖いかたが流失し小型船舶が転覆します。海中にいる人はただちに海上から上って、海岸から離れてください。

一人では逃げるのが難しい方への対応

過去の災害では、周囲からの「声かけ」と「避難の手伝い」が、下記のような高齢者や障がいのある方などの避難行動を早めました。日頃から一人で逃げるのが難しい方を把握し、地域みんなで、いち早く避難行動が取れるよう協力しましょう。

情報の入手や判断が難しい方

(例えばこんな方)

目が見えない方、耳の聞こえない方、認知症の方、知的障がいのある方、日本語が苦手な外国人、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯など

(対応方法)

優しい言葉でゆっくり声かけ

メモや、身振り手振りで伝える

避難準備(学校へ避難しましょう)

移動が難しい方

(例えばこんな方)

普段、杖・押し車・車椅子などを使っている人、寝たきりの人、けが人、病人、妊婦さんなど

(対応方法)

複数で手伝う

身近にあるものを利用する

避難の時の豆知識 非常持ち出し袋を準備しましょう!

避難する時に持っていくもの

防災用品 <ul style="list-style-type: none"> □ 携帯ラジオ □ ヘルメット・防災ずきん □ 軍手 □ マスク 	照明等 <ul style="list-style-type: none"> □ 懐中電灯(電池含む) □ マッチ・ライター 	食器類 <ul style="list-style-type: none"> □ はし・スプーン □ 紙皿・紙コップ 	衣料品 <ul style="list-style-type: none"> □ 衣類(着替え) □ タオル(大小2種類)
貴重品 <ul style="list-style-type: none"> □ 現金(小銭も必要) □ 預(貯)金通帳の写し □ 健康保険証・免許証の写し □ カード類 □ 認印・印鑑など □ 携帯電話 	医療用品 <ul style="list-style-type: none"> □ 三角さん □ 包帯・ガーゼ □ ばんそうこう □ 消毒薬 □ ウェットティッシュ(ティッシュ) □ お薬手帳 	便利用品 <ul style="list-style-type: none"> □ 筆記用具 □ 新聞紙 □ 携帯用トイレ □ ゴミ袋 □ キッチン用ラップ □ 使い捨てカイロ □ 雨具 □ 手動携帯電話充電器 	ゴミ袋をカッパに 新聞を体にまいて防寒 日頃から水や食料を準備しておきましょう。めがね・入れ歯・持病の薬も忘れずに! ラップをお皿にして節水

住民からのメッセージ

声かけあってすぐ避難

安否札を忘れずに!